

'10.12

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安平一志
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 640 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

～商工会法施行50周年～

平成22年度スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲代表の橋本氏と、絹の特色を活かした天然染めの「亀スリム腹巻」。左は販売兼製造店舗の「シルク天然工房」

Contents

■県連合会Letter 2～3頁

- ・第4回たんたん連携推進会議
- ・第2回コーディネーター養成研修会
- ・ひょうご中小企業応援センター事業連絡会議
- ・合併後商工会運営研究会
- ・第9回近青連スポーツ大会、地域間交流研修会
- ・県青連正副会長、常任理事会

■あなたのまちの元気な企業（豊岡市但東町） 4頁

■商工会Letter 5～6頁

- ・神河町ウォーキングラリー、商品券発行（神河町）
- ・阪神地区協議会のフィリピン研修会（芦屋市）
- ・木屋町小路がグッドデザイン賞を受賞（豊岡市）
- ・第21回商工まつり（上郡町）
- ・加東伝の助プレミアム商品券発行（加東市）

「ちりめんの温かさと肌触りの良さをお客様に感じていただき、喜んでいただきたい。」

～シルク天然工房～

豊岡市但東町

豊岡市但東町で、シルク小物等に特化した製造・販売を営んでいるシルク天然工房（代表・橋本文俊氏）は、「ちりめんの温かさと肌触りの良さをお客様に感じていただき、喜んでいただきたい」との思いから、素材の優れている点について研究を重ね、二年前から絹の特色を活かした天然染めの下着製型を開発。絹であるため薄くて軽く、従来のちりめん商品より保温性向上可能な絹織技術及び加工技術の開発を行ったことで、経営革新計画が承認された。

第四回 たんたん連携推進会議を開催

十月七日、県連合会但馬支所（朝来市）において、「第四回たんたん連携推進会議」が開催された。

当日、会議の中で「ニッポン全国物産展」にたんたん連携エリア（丹後・但馬地域）の三事業者が出展することを確認したが、ただ単に「たんたん連携」という看板を掲げるだけでは意味がないという意見があり、いろいろな案の中からたんたん連携オリジナル商品として、『丹但麺（た



▲オリジナル商品「丹但麺」

んたんめん）を開発することで合意を得た。

それに合わせ、今回開発した丹但麺を中小機構主催の「デンクウマルシェカップ」に出品してはどうかという意見も出され、その場で合意された。

丹但麺の開発はブルーリッジホテル（豊岡市）が担当す

認定申請書作成までを行なった。

講師として、（独）中小企業基盤整備機構近畿支部プロジェクトマネージャー・光井将宇氏、ひょうご中小企業応援センターのコーディネーターを招いた。

一日目は事業間連携や新しい事業開発についての講義を受けグループワークを実施し、二日目は販路開拓、今後の展開について講義と公開支援講座を開催し、個別相談を行った。

参加者からは、他地域との交

ることとなり、但馬牛や神鍋名産物の実めん、京丹後のフルーツガリリックなどを贅沢に使用したぶっかけ風にし、中国の坦々麺とは全く異なったものにする予定である。また、消費者の混乱を避けるため名称にサブタイトルを付け、坦々麺との違いを打ち出すこととしている。

今後は、たんたん連携の認証商品を公募したり、『たんたん連携地域間交流事業』と題し、ビジネスマッチングにつながるような交流会等を開催する予定にしている。

流の機会として大変有意義であり、さまざまな事例を共有でき参考になったという意見があった。三回目の報告会に向けて、より多くの取組みが実現されるよう協力体制を整えていく。



▲それぞれの提案について意見を交わす参加者たち

支援センター連絡会議 下半期の活動方針等を協議

県連合会は、十月四日県商工会館において「ひょうご中小企業応援センター事業連絡会議」を開催した。

当日は、県内商工会地域のコーディネーター、ひょうご産業活性化センター、本会チーフアドバイザーである上山修一氏と事務局十四名が出席した。

平成二十二年度上半期の活動として、農商工連携の認定が厳しくなってきたことから、経営革新に切り替えるケースが増えてきていると現状報告の後、その状況を踏まえ下半期の活動方針等について話し合った。

経営革新の認定が現段階でまだ十件であり、目標の五十件を目指し、下半期は経営革新の認定に向けた活動を強化する必要があるとした。

また「経営支援アドバイザー」が、各コーディネーターに企業支援をつないでおり、案件の発掘等に効果的な役割を果たしているという高い評価を受けた。支援後のアフターフォローも含めたきめの細かい支援が必要であるとの意見もあった。

税務署からのお知らせ

～相続又は贈与等に係る生命（損害）保険契約等に基づく年金の税務上の取扱いの変更について～

相続、贈与等により取得した生命保険契約や損害保険契約等に係る年金の所得税の取扱いを改めることとしました。

この取扱いの変更により、所得税の還付を受けることができる場合があります。詳しくは、国税庁ホームページ【www.nta.go.jp】をご覧ください。ただか、最寄りの税務署にお問い合わせください。

第二回コーディネーター養成研修会 事業間連携や各種支援計画承認後 のフォローのあり方を学ぶ

県連合会は、十月二十七（二十八日）に福崎町・中小企業大学校関西校で第二回コーディネーター養成研修会を開催した。

本研修会は、昨年度実施した経営支援アドバイザー養成研修会の修了者を対象とし、より実践的な経営支援能力向上を目的に開催。全三回のカリキュラムの中で、地域の実在事業所における経営革新等の計画策定から

主な行事予定

1月のこよみ	12月のこよみ
28日金 県青連経営革新研修会	3日金 3級簿記検定試験
19日金 同友会誓詞交歓会	3日金～13日月 神戸ルミナリエ テンクウマルシェ出店
14日金 第3回CD養成研修会	7日火 地域資源活用・農商工連携セミナー
21日火 第3回経営支援AD養成研修会	10日金 会計ソフト実務能力試験
	16日火 第3回理事会

合併後商工会運営研究会 商工会運営の意見交換を実施

県連合会は、十月十五日にたつの市・国民宿舎志んぐ荘で「合併後商工会運営研究会」を開催した。

当日は、事務局長や事務局長ら十五商工会から二十五名の出席のもと、南あわじ市商工会・志智会長より、「南あわじ市商工会における支所の閉鎖と現状について」の説明があり、平成十八年の商工会合併時から支所の閉鎖について検討し、職員の配置体制を徐々に変えることにより、二十二年度から原則支所を閉鎖した経緯など、具体的な話があった。

また、県経営商業課・松本係長からは「商工会に係る予算措置の方向性と合併後経過措置に



▲支所の現状等について意見交換する参加者

ついて」と題し、県の補助金の考え方などの説明のほか、「補助金担当者が議会や県幹部に対して、商工会が具体的にどのような地域役に立っているかを今以上に広報し、アピールして欲しい」と発言があった。

また、その後二グループに分かれ分科会を実施し、支所の現状や各商工会が持つ問題点などを熱心に意見交換した。

第九回近畿地区商工会青年部 親睦スポーツ大会・地域間交流研修会

十月二十一日～二十二日にかけて、「第九回近畿地区商工会青年部親睦スポーツ大会」が、王子スポーツセンター（神戸市）で本県青年部連合会（霞末浩二会長）のホストにより開催された。

当日は、近畿府県から六十名余りが参加、兵庫県内からは十八名の参加があった。

今回のスポーツの種目は、香美町小代区が発祥の地とされる公式スポーツの「雪合戦」であり、近畿府県六チームに加え、県内各ブロック七チームと県青連役員チームの計十四チームで熱戦を繰り広げた。

結果は、初体験ではあったが、和歌山県青連が優勝、準優勝が但馬ブロック、三位が大阪府青



▲神戸に集結!! 近畿7府県商工会青年部

県青連正副会長、 常任理事会を開催

県青年部連合会（霞末浩二会長）は、十月十二日、県商工会館で第四回正副会長、常任理事会を開催した。

提出議案は次の通り。
① 近青連スポーツ大会について
② 全国主張発表大会における交流会及び部長会について
審議の結果、いずれも原案のとおり承認された。

近青連スポーツ大会並びに地域間交流研修会については、当日の日程及び役割分担等について協議。

兵庫県青年部として交流会を開催し、翌日の五十周年記念式典前には兵庫県青年部部長会を開催する事とした。

退職金は国の制度で

中退共制度は、中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です。
掛金助成や税法上の優遇など、有利な特典がいっぱいです。
安全・確実な中退共制度をぜひご利用ください。

◆お問い合わせ先

（独）勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
〇三・三四三六・〇一五（代表）

わたしたちジブラルタ生命が、
サポートいたします。

商工貯蓄共済制度

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度の生命保険部分はジブラルタ生命が引き受けています。



尼崎信用金庫
淡路信用金庫
神戸信用金庫
但馬信用金庫
但陽信用金庫
中兵庫信用金庫
西兵庫信用金庫
日新信用金庫
播州信用金庫
姫路信用金庫
兵庫信用金庫

（アイコン参照）

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。（但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます）

あなたのまちの元気な企業 ⑳

シルク天然工房

豊岡市但東町

事業の概要・変遷について

シルク天然工房の代表である橋本文俊氏は、平成十年に豊岡市出石町において雑貨、絹製品等が中心の小売業として開業。

絹製品については和装離れにより業界の衰退が著しい中、絹製品の素材の優れている点について二年前から研究を重ね、「ちりめんの温かさと肌触りの良さをお客様に感じていただき、喜んでいただきたい」との思いから、絹の特色を活かした天然染めの下着製品の販売に転換した。



▲シルク小物等に特化した「シルク天然工房」

平成二十二年三月、織物工場跡地を改装し、新たに豊岡市但東町でシルク小物等に特化した

「シルク天然工房」として販売兼製造店舗を開設。エンジニアの経験があったため、独自で製造機械も開発した。

経営理念について

ちりめんの温かさと肌触りの良さをお客様に感じていただき、喜んでいただきたい。



▲ちりめんの良さを感じていただきたい

新商品開発のきっかけ

同氏には、過去にクラゲに刺され、危うく手を切断しなければいけない状況にまで追い込まれた時に静脈専門医との出会いがあった。治療は「ちりめん」の生地を使い、自分の腕をマッサージし続けただけであったが、小指が動き出し奇跡的に回復した。

この体験をもとに、絹の新たな

な可能性として絹製品で腕や脚を締めると温かくなることを知り、絹製品の開発に着手するきっかけとなった。

経営革新計画の承認

経営革新に取り組んだきっかけは、絹製品の商品化に向け自社の現状や課題を見極め、経営力の向上を図るための経営革新計画を策定し、承認を得ることにより目標が明確となり、ビジネスチャンスを広げたいと思っただからである。

内容としては、保温性向上可能な絹織技術及び加工技術の開発、色むらの出ない染色方法の確立、これらを活用した下着の開発である。

注目されている商品

「亀スリム腹巻」は、前述の経営革新計画が承認をされた事業で製作を行ったもので、具体的には、ちりめんの生地にしわ加工を施すことで保温性・通気性向上に寄与する凸凹（山）をつくり、伸縮性のあるゴムを入れ、体のしめつけ効果・体型別調整機能がでる縫製加工技術と染色方法を用いることで、従来の絹腹巻との差別化が可能となった。



▲好評の亀スリム腹巻

特徴として、従来のちりめん商品より保温性が向上し、絹であるため薄くて軽く、ちりめん本来のすべらない特性に加え、締め付け用糸状ゴムがずり落ちにくくしている。さらに、ちりめんは洗濯ができないのが常識であるが、しわ加工を施したため洗っても縮みにくく、ゴムによる伸縮性もあるため洗濯が可能となっている。

積極的に取り組んでいること

販路として①一般消費者向け直接販売②小売店への委託販売③高額でもこだわり商材を扱う通販会社への販売④百貨店などの販売チャネル開拓⑤介護福祉施設への直販体制等を考えており、製品の付加価値向上に向けて邁進したい。

本技術については、特許申請も視野に入れて準備を進めている。人材採用については、働く意欲があるが働く場所がなく

困っている障害者を手作業が必要な染色部門で雇用し、社会的存在意義のある経営を目指したいとしている。

地域に対する思いについて

但東・出石地域は以前絹の産地だったが、今は生産者がいなくなつた。もう一度但馬ちりめんを復活させたい。着物が駄目なら衣類で勝負との思いで、今までにない絹製品をこの地域発で展開させていきたい。

商工会に期待すること

外部から企業等に関してもっと情報提供してほしい。会員があつてこそその商工会とあるので、個々がメリットを感じられるような支援をお願いしたい。

企業概要

- ①法人形態 シルク天然工房(個人)
- ②責任者 橋本文俊
- ③所在地 豊岡市但東町中山31-3
- ④TEL 0796-56-1185
- ⑤生年月日 S.25.3.30
- ⑥創業年 H22.3.7
- ⑦商工会員歴 30年
- ⑧営業時間 9:00~17:00

自然と触れ合う
ワーカウオーキング
神河町商工会



▲自然と触れあい砥峰高原をウォーキング

神河町商工会（堀口勝久会長）は、平成二十二年労働環境対策事業として、ワーカウオーキングを十月二十三日（土）に実施した。

当日は、県下各地より四十五名の参加者があり、秋晴れの中自然と触れ合いながらウォーキングを行った。

コースは、ことし十二月に上映される映画「ノルウェイの森」の撮影場所であり、約九十鈴に及ぶスキの草原として有名な砥峰高原と、揚水発電所として日本で三番目の大きさを誇る関西電力大河内発電所の太田ダムを周回。日頃の運動不足の解消と勤労意欲の増進を図った。

神河町商工会商品券発売

神河町商工会では、10%プレミアム付のかみかわハートフル商品券を10月1日に発売。

神河町のキャラクター「カーミン」を図柄に加えた1万円の商品券（1000円券×11枚づつ）1000セットは即日完売となった。

この商品券は神河町内80店舗で平成23年3月31日まで利用可能。

神河町商工会では、今後も地区内の事業所の活性化と消費者の消費の拡大を目指して継続した商品券の販売を考えている。



日本・フィリピン
友好セミナーを開催
阪神地区商工会連絡協

十月八日（金）阪神地区商工会連絡協議会（芦屋市商工会小田脩造会長）は日本・フィリピン友好セミナーを開催した。

この度のセミナーは、兵庫県阪神南泉民局・北泉民局と在大阪フィリピン総領事館の協力を

受け実現したもの。

フィリピンからは、経済特区・リア・デリマ長官、日本貿易振興機構マニラ・辻二郎アドバイザーを招き、現今の経済不況の復興を踏まえての開催となった。

セミナーでは、「失敗しない



▲熱心に聞き入る参加者と、フィリピンのデリマ長官

海外進出と政治経済」「フィリピンの投資環境について」と題して講演があり、「投資の現状と今後の見通し」「フィリピンにおける労働環境の対応」等、活発に意見交換も行われ、内容的にも参加者百二十三人にとっては充実したものとなった。

製造事業所の皆様へ

平成22年工業統計調査にご協力ください



経済産業省・兵庫県・市町では、工業統計調査を平成22年12月31日現在で実施します。

この調査は、工業の実態を明らかにするとともに、国や地方公共団体の各種経済施策の基礎資料を得るため、製造業を営む事業所を対象に、従業員数・製造品出荷額などを調査するものです。

本年12月から来年1月にかけて調査員が事業所を訪問して「調査票」の記入をお願いしますので、調査にご協力ください。

皆様から提出していただく調査票は、統計法に基づき、調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いいたします。

平成22年6月30日から
改正育児・介護休業法が施行されています

子育て期間中の働き方の見直し、父親も子育てができる働き方の実現、仕事と介護の両立支援を目的に、育児・介護休業法が改正され、平成22年6月30日から施行されています（ただし、100人以下企業は、子育て中の短時間勤務制度の義務化、所定外労働の免除の制度化、介護休暇の制度化について、平成24年7月1日施行）。

- 1 育児のための所定労働時間短縮等の措置及び所定外労働（残業）免除の義務化

改正前

3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度・所定外労働（残業）免除制度のいずれかを設けなければならない。



改正後

- ① 3歳までの子を養育する労働者について、1日の所定労働時間を6時間とする短時間勤務制度を設けることを義務化。
- ② 3歳までの子を養育する労働者が請求した場合は所定外労働の免除を義務化。

- ①については、労使協定の締結により、業務の性質又は業務の実施体制に照らして、所定労働時間の短縮措置を講ずることが困難と認められる業務に従事する労働者からの申出を拒むことができます。但し、対象から除外された業務に従事する労働者に対しては、次のいずれかの措置を講じなければなりません。
 - a フレックスタイム制
 - b 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ
 - c 保育施設の設置運営その他これに準ずる便宜の供与
 - d 育児休業制度に準ずる措置

木屋町小路が グッドデザイン受賞 豊岡市商工会城崎支所

木屋町小路は、城崎町の中心市街地活性化基本計画となる『城崎このさき百年計画』の一部であり、市町合併後は城崎町商工会が中心となり事業を進めてきた。商工会としては、この施設の役割や機能・効率的な運営管理・施設設計の詳細に至るまで関わり、この木屋町小路を築き上げてきた。この施設設置に伴う基本的な考え方は①温泉街



▲木屋町小路の景観

の中心部にできた空地を有効に活用し、中心部に賑わいを創出する。②インキュベーション機能を果たせ、将来的な空店舗対策として事業者の発掘や育成を行う。③まちづくり推進の拠点施設と位置付け、まちづくり資金やまちづくり計画をこの施設で作りに出す。

す。④将来的な改修費用や設備類の更新等も含め、独立採算が成り立つ施設の運営管理を目指す。等をテーマとして計画を行った。このような活動が評価され、平成二十二年度土地活用モデル大賞の最優秀となる『国土交通大臣賞』及び『2010グッドデザイン賞』を商工会として受賞した。



▲2010グッドデザイン賞を受賞

加東伝の助 プレミアム商品券を発売

加東市商工会(土肥富幸会長)は、市民への生活支援と厳しい環境下にある地元商工業者の活性化を図ることを目的に、加東市の支援を受け、加東市民限定とするプレミアム商品券を十一月十日(水)から発売。

【事業の概要】

発行総額…二億四千万円

プレミアム…二十%

購入限度…一世帯五セット(一

セット…千円券六枚を、五千円で販売)

【事業の特徴】

一、商品券の売上げの中から、市内小・中学校の図書費として寄付する「伝の助文庫キャンペーン」の実施。

二、「福祉枠」を設け、民生児童委員が必要と認める世帯のうち、購入を希望される世帯

への先行販売の実施。

三、地元商店街(会)対策として、市内商業団体に対し販促活動に伴う助成金の支援。

四、Happyプレゼントとして、商品券を購入された方の中から抽選により、国内旅行券等の賞品の進呈。

◆お詫びと訂正

十一月号三頁写真のキャプションにおいて、「嶺山氏」とするところが「峰山氏」となっており訂正いたしますとともに謹んでお詫び申しあげます。

モロどん早食い競争など人気 第二十一回商工まつり 上郡町商工会

上郡町商工会(小河清之会長)は、十一月十四日役場裏駐車場において「第二十一回商工まつり」を開催した。

この催しは、町民と商工会員の交流の場を提供するとともに、新規顧客の開拓や企業のPRなど、事業機会の創出につながる超える出店があり、多くの来場者でにぎわった。

また、同商工会では、町内飲食店十五店舗による「第一回円心モロどんスタンプラリー」(※)を十一月一日から展開中であり(来年一月十六日まで)、ラリーのノボリや横断幕、チラシ等の題字を手掛けた筆文字職人・堀之内哲也氏を商工まつりにも招へい。同氏は、戦国時代に地元で活躍した武将・赤松円心にちなみ、鎧かぶと姿でス



▲筆文字職人の堀之内氏

テージに登場。魂を込めた書下ろしパフォーマンスで、来場者を引きつけた。

一方、同青年部(杉本誠良部長)でも、今回初の試みとして「モロどんの早食い競争」を実施。ステージ前は、その様子を見ようと多くの人で溢れた。

(※)健康野菜モロヘイヤを練り込んだうどん。商工会のむらおこし事業によって約十五年前に生まれた。



▲初の試み「モロどんの早食い競争」



▲プレミアム商品券「加東伝の助」

—中小企業と共に50年—
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号(県立産業会館内)
☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757
ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp